

令和6年度 第1回宇治市スポーツ推進審議会

議事要旨

宇治市

令和6年度 第1回宇治市スポーツ推進審議会 議事要旨

〈開催年月日〉

令和6年8月27日（火） 15時00分～

〈開催場所〉

ゆめりあうじ4階 大会議室

〈出席者〉

➤ 委員

長積 仁（会長）

佐野 恵理子（会長職務代理）

石井 敬己

佐藤 朋子

多田 重光

西山 正一

長谷川 理生也

森 美奈子

立命館大学 スポーツ健康科学部 教授

（一財）宇治市スポーツ協会 副会長

（株）京都パープルサンガ ホームタウン推進課長

宇治市スポーツ少年団 副本部長

（公社）宇治市観光協会 専務理事兼事務局長

宇治市体育振興会連合会 副会長

宇治商工会議所 専務理事

摂南大学 農学部食品栄養学科 講師

計8名

➤ 事務局等

脇坂 英昭

柏木 三奈

岡部 均

菅居 聖承

伊藤 大志

菱木 智優聖

吉高 史彩

櫻井 砂夫

上田 敦男

産業観光部 部長

産業観光部 副部長

産業観光部 文化スポーツ課 課長

産業観光部 文化スポーツ課 スポーツ係 係長

産業観光部 文化スポーツ課 スポーツ係 主任

産業観光部 文化スポーツ課 スポーツ係 主任

産業観光部 文化スポーツ課 スポーツ係 主事

産業観光部 文化スポーツ課 スポーツ係 嘱託

政策企画部 政策戦略課 副課長

計9名

〈会議内容〉

1. 開会

2. 挨拶

3. 議事

令和6年度 第1回宇治市スポーツ推進審議会 議事要旨

(1) 令和5年度スポーツ推進事業の実施結果について

令和6年度スポーツ推進事業の進捗状況について

- ・事務局より資料1、資料2にもとづき説明

(会長)

スポーツとこれまで関連のない他分野との連携は、意外性もあり人の意識も向くと感じる
ので、「第2期宇治市スポーツ推進計画」にあるスポーツをたのしむ、つなげる、ひろがる
にも大きく関わる。今後も、その視点も踏まえた事業化を意識するべき。

(委員)

ワールドマスターズゲームズまであと2年、大会の成功に向けて宇治市としてフライング
ディスクの認知を上げ、どれだけ盛り上げていけるかについては、課題を細分化してこなし
ていく必要があると思う。

(事務局)

課題の細分化については、まず市内の観光、産業、健康、教育の分野で連携して意見を出
し合い、取り組む必要があると考えている。また、課題の洗い出しの部分では、京都府フラ
イニングディスク協会、日本フライングディスク協会とも連携を強めながら、ワールドマスタ
ーズゲームズへの国の動き等々も掴んでいきたいと思う。

(会長)

ワールドマスターズゲームズ開催のときに、宇治市としてどんな機運を盛り上げていくか、
海外の方々はスポーツをするだけでなく観光もして帰られる中で、このチャンスを多角的な
ところから考えていく必要もある。

(委員)

新規事業が増えていく中でスポーツ少年団は団員数が減り、解散される団もあり、存続の
危機を感じている。地道な方法でも、増やしていきたいと考えており、親子体操では未就学
児を対象に、裾野を広げる動きも検討している。

(会長)

スポーツイベント等で興味を持った種目の受皿に少年団がなるというのも一つ、少年団の
もともとの理念に則り、コーディネーショントレーニングなどを取り入れて競技種目を限定
せずに多種目のスポーツを楽しむのも一つと思う。

(委員)

地域で行う運動会も、町民運動会からニュースポーツ体験等のスポーツイベント形式に変
わってきている。地域のイベントでも、スポーツだけでなく、健康、教育部局とも連携した
事業が実施でき人気も出てきているので、今後も続けたい。

令和6年度 第1回宇治市スポーツ推進審議会 議事要旨

(会長)

計画の推進状況について、現状の定量的なエビデンスだけでなく、定性的なエビデンスも指標として追加してはという考え方もある。これからの進捗状況を検証していくうえで、多様な価値評価の導入を検討できればと思う。

(委員)

企業からは深刻な人手不足、仕事を回すのに精一杯という声もある一方で、健康がいかに企業経営にプラスに働くかということも、明らかに数字で見えてきているため、従業員には、少しでもスポーツをしてリフレッシュして欲しい。ウォーキングアプリを使った「うじスマートウェルネス推進事業」であれば比較的取り組みやすく、広報面でも協力していけると感じた。

(委員)

「子育て・子育て環境の充実」においては、食育とスポーツが上手に連携し、市民団体も巻き込んだ連携をしていくと、スポーツに取り組むにあたって肩肘張らず始められると思う。そうやって裾野を広げ、運動ができる子供が育てられる街として宇治市の魅力アップにつながると思う。

(事務局)

文化スポーツ課だけでなく、他部署、外部団体も含めて融合した形で進めなければうまくいかないということを改めて再認識した。まずはスポーツを通じて繋がる、健康、観光、産業などを通じて、庁内から動き出したいと思う。

4. その他

(1) 西小倉地域小学校跡地に関する基本的な活用方針

～北小倉小学校跡地のスポーツ設備の整備について～

・政策戦略課より資料3にもとづき説明

(委員)

若者向けもしくはニュースポーツというような観点で、パリオリンピックの競技種目にもなったスケートボードができる施設を検討いただきたい。

(会長)

スケートボードや、クライミングの施設をつくるだけではなく、スポーツ教室などのプログラムやサービスもセットとして検討いただきたい。

(委員)

オリンピックが32競技、種目としては400近くあり、宇治市に行けば32競技全てできる

令和6年度 第1回宇治市スポーツ推進審議会 議事要旨

場所があるような、スポーツを楽しめるまちづくりを望む。また、宇治市に剣道や柔道ができる場所が少ないという声も聞いたため、武道館のような施設をつくっていただけると嬉しい。

(会長)

特定の競技や、その目的にしか使用できない施設というよりは、可変的、多目的に利用できる施設、という点も踏まえて検討いただきたい。

(委員)

北小倉小学校跡地の遊びの場に親子で遊べるプログラムとして「子育て支援広場」のような、赤ちゃんの時からスポーツで遊ぶ習慣づくりができる場所があればと思う。

(委員)

「子育て支援広場」のような場に高齢者も参加し、赤ちゃんと接することで気持ちも元気になり、激しいスポーツが体力的にできない高齢者でも健康増進に繋がると思う。

(会長)

公共施設なので若者から高齢者まで色々な方が集う場所であることは勿論だが、多機能、多目的で無難ではない施設を検討して欲しい。

(委員)

耐震補強のしっかりした小学校が残っており、音も気にしない場所なので、eスポーツができる施設を提案する。

(会長)

eスポーツができる施設をという案に関連して、デジタルアートのような文化とスポーツが垣根を越えて、いかにもスポーツ施設というよりはデザインも含めて考えられたらよいと思う。

(委員)

校舎がどれくらい残るか分からないが、ダンスができる教室やフットサル場があればと思う。また、スポーツと勉強を組み合わせ、例えば、大学生からスポーツも学べて、勉強も教えてもらえるような大学生の人材活用も検討してはどうか。

(会長)

PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアチブ）とまでは言わないが、民間企業にプロデュースしてもらったり、施設のネーミングライツを企業等に付与するなど、地元企業も巻き込んで宇治市のイメージを変える、「スポーツの聖地」と言われるような施設を望む。

(2) 宇治市部活動地域移行検討委員会について

・事務局より資料3にもとづき説明

(委員)

生徒数減少に伴う2校合同の部活動もある中で、中学校体育連盟主催の大会運営について府大会、近畿大会とどのように予選を行い、全国大会まで目指していくのか、スポーツ庁がどこまで早く方針を出してくれるのかが問題と思う。また、部活動だけ通学している中学校とは違う中学校ですることになると、保護者による送迎がすごく大変になる。指導員を外部の方に頼む際の予算についても、保護者負担ではなく例えば学校の部活動の扱いにしていくなかなど、府の考えも教えていただきたい。

(会長)

中学校体育連盟主催の大会については、合同部活動や地域クラブの参加も認める方向になるだろうと言われている。京都府の場合は、地域クラブから参加しているところも審判や運営の手伝いを条件に大会に参加できるとしていることについて、地域で揉めているところもあると聞いている。

保護者による送迎の問題については、スクールバスを出しているところもあれば、保護者同士が話して乗り合いで行っているところもある。また、事故が起こった場合の補償問題をどうするのかなど悩ましいところである。

これまでの学校教員の過剰な負担により学校部活動が成り立っていたことが異常だったという観点に立ち、今までと同様に部活動を保障することは難しいかもしれないが、部活動の機会を家庭の経済状況によらない形で支援するにはどうしたらよいかと悩んでいる自治体も多い。

宇治市では、まず子供たちのニーズを汲み取った上でモデルをつくっていく形で、残り3回ほど検討委員会で検討することとしている。検討委員会には学校教育の部局以外にも、文化スポーツ課を含む複数部局が委員会に参加し、検討を進めている。

学校教育だけの話ではなく、民間団体の方々と連携を図りながら、限られた支援を活用し、中学生の部活動の改革だけではなく、宇治市で子供たちを育てていく、新しい仕組み自体を作ることができないかというところで議論している状況。

5. 閉会

➤ 事務局挨拶